

輝け 田底っ子

第 32 号

文責：校長 益永 一幸

夏休みの「自由研究」 ～よくがんばりました～

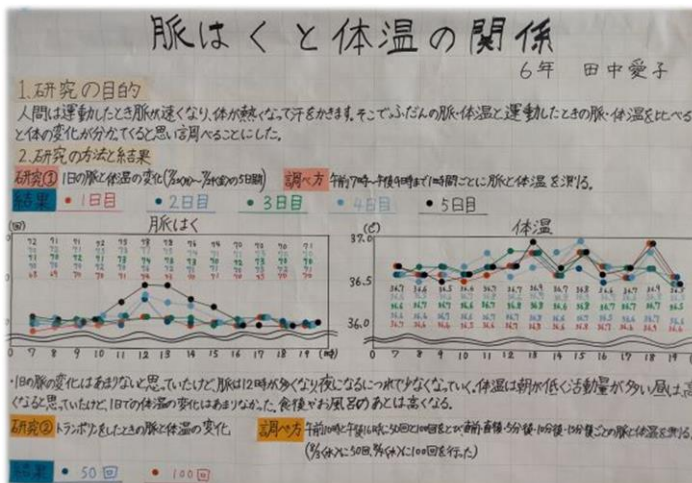
今年度も夏休みの自由研究がたくさん提出され、3年生から6年生まで作品数35点、人数56人（86%）という結果でした。内容は、実験や観察、本やインターネットで調べたものなど、自分が研究したいことについて、時間をかけて調べてまとめられていました。その中でも、学年から1点ずつ優秀賞と学校代表として市に提出する作品を決定しました。紹介します。

【学年代表優秀賞】

- 3年：角田くるみ さん「やさいの水分しらべ」
- 4年：山口さき さん「再生紙を作ろう」
- 5年：花籠そうた さん「氷の研究」
- 6年：藤田優月 さん「蒸発する量」

【学校代表】

- 6年：田中愛子 さん「脈はくと体温の関係」



上の写真は、学年代表優秀賞の表彰を10月の全校集会でしているところです。左の写真は、学校代表の作品です。脈拍と体温の変化をグラフにしています。場面や体の状態によって、どう変化するのか。また脈拍と体温は関係あるのかについて研究していました。よかったのは、時間をかけて実験しその結果を丁寧にグラフに表していることだと思いました。

よりよい自由研究にするために～次年度に生かしてほしいポイント～

ポイント①：まとめ方を工夫する

- ・「目的」「予想」「調べ方」「結果」「まとめ」を順序立てて書く。

ポイント②：正直に書く

- ・うそを書かない。実験してないのにしたとうそをつかない。まねしない。
(大人がこれをするとなで罰せられます。)

ポイント③：失敗した実験が新しい発見の「チャンス」～失敗の原因を探り再チャレ～

- ・失敗した結果になったと思ったら「チャンス」。やり方が間違っていたのか、予想と違っていたのか、実験の回数が少なかったのか、その原因を探り、再チャレンジすることで、新しい発見や自分の考えが高まることにつながります。